

## 市の助言内容と申出者の意見

市の助言	申出者の意見
<b>1 通りに対する賑わいの創出について</b>	
<p>計画建築物低層部のセットバック部分は、通りに面して各店舗から出入口が設置され、単なる歩行空間ではなく複数の溜まりを生み出す効果が期待できます。</p> <p>みどりを感じられる設えなど、滞留空間を演出することで低層部全体がまちに開かれた新たな形の賑わい創出につながるよう検討してください。</p>	<p>以前はⅡ期の方にも人の溜まりやみどりを配置していましたが、外壁部に閉ざされた壁ができてしまうところがあり、建物と街との接続性がないと感じたため、閉じた壁をガラスにしたり、商業の出入口を1か所増やして回遊動線を作るなど、建物の中にぎわいが街へと滲み出すことを意識して計画を深度化しました。</p> <p>今後、具体的なテナントが見えてきた段階で、溜まりも含めた街への開き方、賑わいの創出についてさらに検討してまいります。</p>
<b>2 地上部と地下部のつながりを感じさせるデザインについて</b>	
<p>接続空間と計画建物が一体となって賑わいを創出するためには、接続空間に面する部分、地上部と地下部のつながりを感じられるデザインが望まれます。すでに検討されているデザイン上の工夫の深度化を図りつつ、よりつながりを感じられる工夫ができないか検討するよう努めてください。</p>	<p>接続空間に面する部分から地下部、地上部がつながりを持って一体的なデザインとなるように、デザインモチーフや素材の共通化や、水平・垂直方向に指向性のあるデザイン等をさらに検討してまいります。</p>
<b>3 照明による良好な夜間景観の演出について</b>	
<p>計画建築物は、札幌駅前通と北4条通に面する角地にあり、札幌駅前通に対して東側から明るさやにぎわいをもたらすことができる位置にあることから、印象的なデザインである隅切り部をはじめ、建築物全体が通りの魅力づくりに寄与する良好な夜間景観を演出するよう工夫されることを期待します。</p>	<p>通りから視認性が高い隅切り部や雁木空間は、夜間も印象的な景観を保全するためにどのような工夫ができるか、照明計画や外装計画を引き続き検討してまいります。</p>
<b>4 サイン等について</b>	
<p>無秩序なテナントサインの掲出やテナントごとに設置される照明は、景観の阻害につながるおそれがあります。一定のルールに基づいて掲出されるような仕組みの構築について、積極的に検討するよう努めてください。</p>	<p>外部空間に面するエリアは、テナントのサインや照明計画などのルールを策定し、テナントデザインをある程度コントロールすることで、統一感のある外観となるよう検討してまいります。</p>